

1. 今後の税率設定（基金状況）とH31年度予算案について

【1】予算（H30、H31）と基金の状況

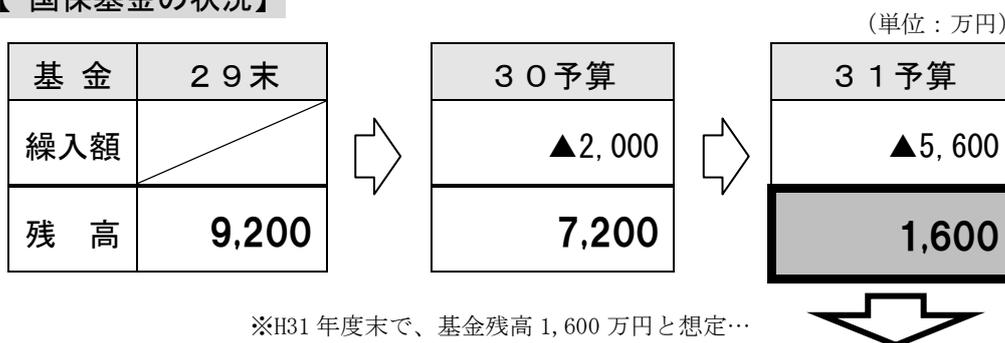
●H30年度補正予算：基金繰入は **2,000万円**（残高：9,200→7,200）

- ・ 税収見込増や予備費削減等により、基金繰入の予算削減（▲5,600万円）

●H31年度当初予算：基金繰入は **5,600万円**（残高：7,200→1,600）

- ・ H31年度調定額を、前年度比▲7%と低めに見込む（前年比▲4,400万円）
- ・ 税収納率は92%と低めに設定（H29年度実績93%）
- ・ 5,600万円の内容：①税収不足3,000、②保健事業2,600

【国保基金の状況】



H31 予算では基金対応可、H32 予算編成は困難

※32年度以降に想定される不足額（万円）

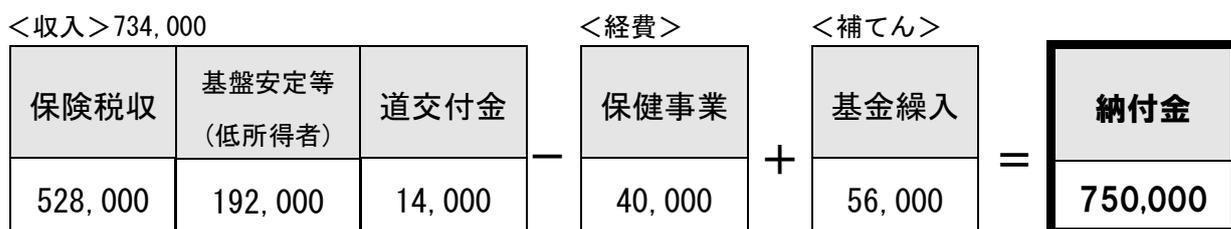
- ・ 保健事業不足分：▲2,000
- ・ 税収不足分：▲1~3,000
- ・ 納付金分：なし
- ・ 前期納付金精算分：不明（H31：▲1,000、H32：7月頃）

【2】納付金算定結果（2/1提示：最終確定額）

- ・ 道へ「納付金」を支払い、道から保険給付費（医療費）が交付。保険税財源

	H30実績	H31本算定	差額	(単位：千円)
医療分	540,993	543,530	2,537	
後期分	161,199	155,045	▲6,154	
介護分	50,937	51,461	524	
合計	753,129	750,036	▲3,093	※納付金全体で、ほぼ前年同額

【H31納付金の構成】 (単位：千円)



※40,000-14,000=26,000(保健事業不足分)

※56,000-26,000=30,000(税収不足分)

【3】H31 年度予算案

<ポイント>

- ・農業所得等の落ち込みを予想し、H30 当初賦課額から▲7%で税収を算出
- ・予備費が不要（保険給付費（医療費）は、道からの交付金が充当されるため）
- ・その他、大きな変動なし

<歳入>

(単位：千円)

科目	H30	H31	差額	備考
国保税	542,385	528,504	▲13,881	H30 当初賦課額から▲7%
道支出金	2,207,126	2,145,053	▲62,073	歳出：保険給付費補てんあり
財産収入	4	9	5	
繰入金	305,610	293,253	▲12,357	基金繰入：56,456(▲20,281)
繰越金	1	1	0	
諸収入	2,956	2,956	0	延滞金等
合計	3,058,082	2,969,776	▲88,306	

<歳出>

科目	H30	H31	差額	備考
総務費	64,053	65,213	1,160	人件費+2,000、需用費等▲1,000
保険給付費	2,164,114	2,101,352	▲62,762	道支出金にて補てん
納付金	756,460	752,762	▲3,698	一般分確定値、退職分前年値
保健事業費	43,533	40,522	▲3,011	健診事業費等を見直し
積立金	5	10	5	
公債費	800	800	0	
諸支出金	9,117	9,117	0	
予備費	20,000	0	▲20,000	保険給付費への対応が不要
合計	3,058,082	2,969,776	▲88,306	

【4】(参考) 現行税率と市町村標準税率の比較

道では、納付金算定にあたり、市町村に対し「標準保険料率」を示し、市町村のあるべき保険料率の見える化を図り、市町村側では、これを参考として保険料率を決定するものとされている。以下、現行税率と比較。

- 「後期・介護分」を減じて、「一般分」を増やすような設定が必要
- 「応益分（特に均等割）」を増やすような設定が必要
- 道の運営方針からも「3方式化（資産割無）」の方向性：所得割・均等割の増
- 現行税率は、道提示の税額と大きな隔たりなし。ただし保健事業分で欠損あり

①平成 30 年度現行税率

	医療分	後期分	介護分	合 計
所得割	7.40	3.00	2.40	12.80
資産割	20.00	9.00	4.00	33.00
均等割	21,000	10,000	10,000	41,000
平等割	18,000	8,000	8,000	34,000

②市町村算定方式（4方式）：参考税率

所得割	7.86	2.25	1.62	11.73
資産割	22.55	7.25	2.95	32.75
均等割	24,247	8,190	7,836	40,273
平等割	20,370	6,424	6,364	33,158

③市町村標準保険料率（3方式）：標準税率

所得割	8.36	2.34	1.73	12.43
資産割	0.00	0.00	0.00	0.00
均等割	31,541	9,017	9,026	49,584
平等割	21,638	6,186	4,655	32,479

②－①

医療分	後期分	介護分	合 計
0.46	▲0.75	▲0.78	▲1.07
2.55	▲1.75	▲1.05	▲0.25
3,247	▲1,810	▲2,164	▲727
2,370	▲1,576	▲1,636	▲842

③－①

0.96	▲0.66	▲0.67	▲0.37
▲20.00	▲9.00	▲4.00	▲33.00
10,541	▲983	▲974	8,584
3,638	▲1,814	▲3,345	▲1,521

<参考：課税賦課額での比較（シュミレーション）>

①平成 30 年度現行税率

(単位：千円)

	医療分	後期分	介護分	合 計
所得割	222,775	83,874	32,167	338,816
資産割	20,834	8,707	1,405	30,946
均等割	78,710	37,481	11,881	128,072
平等割	38,004	16,890	7,309	62,203
合 計	360,323	146,952	52,762	560,037

国保中央会作成の「税率試算システム」を使用し、現在の賦課額①と道提示の税率による賦課額②③を比較したもの。
賦課額のため、実際の税金は、収納率を乗じて算出される。

②市町村算定方式（4方式）

所得割	231,891	68,221	24,101	324,213
資産割	23,021	7,606	1,150	31,777
均等割	90,880	30,697	9,310	130,887
平等割	43,007	13,563	5,814	62,384
合 計	388,799	120,087	40,375	549,261

②－①

医療分	後期分	介護分	合 計
9,116	▲15,653	▲8,066	▲14,603
2,187	▲1,101	▲255	831
12,170	▲6,784	▲2,571	2,815
5,003	▲3,327	▲1,495	181
28,476	▲26,865	▲12,387	▲10,776

③市町村標準保険料率（3方式）

所得割	241,779	70,703	25,486	337,968
資産割	0	0	0	0
均等割	118,218	33,796	10,724	162,738
平等割	45,685	13,060	4,253	62,998
合 計	405,682	117,559	40,463	563,704

③－①

19,004	▲13,171	▲6,681	▲848
▲20,834	▲8,707	▲1,405	▲30,946
39,508	▲3,685	▲1,157	34,666
7,681	▲3,830	▲3,056	795
45,359	▲29,393	▲12,299	3,667